

# 大和郡山 防災ニュース 5.11月

このニュースは、市内で防災に関わる住民の皆さんに、様々な取組や防災情報を提供します。

## 災害に備えて 自宅で準備しておきたいこと どんなことですか？

市民の皆さんから、窓口や防災出前講座などで、よくご質問をいただくのは、やはり身近な防災「自宅ではどんな準備をすれば良いの?」「どこへ逃げたら良いの?」といったことが多いように感じます。今回は、災害に備えて「自宅で準備しておきたいこと」について考えてみましょう。

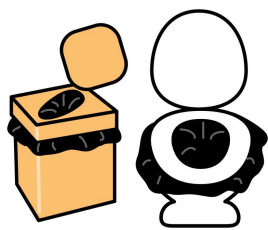
### 食料・水とトイレは最初の課題

地震や水害などの災害でまず困るのは、食料・水とトイレの確保です。食料・水については、支援物資の到着までの間の最低3日分は確保しておきましょう。なお、普段の生活で食べているインスタント食品や缶詰などを普段から多めに買って置き、使った分だけ新しく買い足すローリングストックをすれば、無理なく備蓄ができます。この場合、カセットコンロ・ボンベなど火力の準備もお忘れなく。また災害食品であるアルファ米などを備蓄する場合は、時々調理の訓練を行って実際に食べてみましょう。



### 家庭でのトイレ処理剤の備蓄をお奨めします

次にトイレですが、水洗トイレの場合、断水や排水管の損壊などで使用できないことが考えられます。また、マンションなどの場合、しばらくは屋上貯水タンクの水で水道が使える場合もありますが貴重な飲み水ですので、状況がわかるまでトイレの流水は控えましょう。また高層住宅で排水管が損傷しているのに水洗を使用すると階下の住宅に汚水が流れ込むなどトラブル発生の可能性があります。一戸建て住宅地でも下水管が壊れているのに排水し続けると、路上に汚水が溢れたり、土壌を汚染してしまいます。と云って、自宅に住めるのにトイレだけのために避難所に避難することは衛生面でもメンタル面でもお奨めできません。このため市では家庭における携帯用トイレの備蓄を推奨しています。普段のトイレに処理剤の入ったビニール袋をかけて使用し、排便後は袋を閉じてゴミとして処分します。



### モバイル電源も用意しよう！

家族や知り合いとの緊急連絡、生活情報の確保のためスマホや携帯電話の重要度も増してきます。LINEなどデータ通信は比較的災害に強いと言われていています。しかし、これらも充電がなくなると使えませんので、旅行用のモバイルバッテリーなどで電気も普段から備蓄しておきましょう。



## 地域においても、災害時への準備をお願いします！

個々の住民で備蓄を行っていても、被災の状況によっては備蓄品が破損したり、取り出せなくなる場合も考えられます。できれば、自治会等で予備の食料・水・トイレ処理剤等を備蓄していただき、不足世帯への配給について検討していただくようお願いします。なお、自主防災組織に登録した自治会でこれら備蓄品や保管用の物置、その他消火器、発電機等ご購入の際は「自主防災組織活動事業費補助金」が活用できますので、市民安全課までお問い合わせください。



### ～地域の防災だより～

## 材木町自主防災会で「防災食づくり体験教室」が開催されました

去る10月29日、三の丸会館調理室で「防災食づくり体験教室」が開催され、自治会員28名が参加されました。講師に招かれたのは、奈良佐保短期大学の島村先生、飯田先生。奈良佐保短期大学には、大和郡山防災ニュース3.10月～4.6月号で5回にわたり掲載しました「みんなで作ろう！防災食」シリーズの資料もご提供いただいています。教室は朝9時から午後1時まで行われ、



白ご飯、αリゾット、ツナカレー、シーフードペペロンチーノ、ヨーグルト蒸しケーキ、アメリカンドッグの6品の料理説明、講師実演に引き続き、参加者は実際の調理に挑戦しました。教室を主催した藏田会長によると、防災食の調理、食事体験ができたことはいざという時の参考になっただけでなく、日常の地域コミュニケーションにも有意義だったとのことでした。

### 編集後記

先月号でも紹介しましたが、現在、筆者は市内浸水区域等にお住まいの要支援者宅(490戸)の家庭訪問を行っています。空家？のような家と見えたなら実は既に施設に入所していたとか、身体障がい者手帳は所持しているが自分で歩いて避難できるよ！とおっしゃる方、また、市からそのような訪問を受けるとは思わず、訪問詐欺じゃないか？と誤解されたこともありました。

でも、災害になれば深刻な状況になるような方もおられ、今後も訪問を続け、ケアマネジャー等福祉専門職と連携して要支援者対策を進めていきます。

## 自治会などの防災出前講座依頼も受付中！

## 少人数でも訪問します。市民安全課までご相談ください

お気軽に市民安全課(市役所4階1番窓口

電話53-1151(内線629))にご相談ください。

このニュースは、市民安全課、市内の各支所、矢田コミュニティ会館、公民館で配布しています。また、市のHPでもご覧になれます

大和郡山防災ニュース

検索

発行人 市役所市民安全課